

発行日 1995年3月1日  
発行元 株式会社  
オリジン・コーポレーション  
代表取締役：杉井保之  
〒426 静岡県藤枝市大東町777-1  
TEL 054-636-4300  
FAX 054-636-6187

# しおるま

## オリジンに遊びに来て下さい

カウンセリングやコンサルティングの仕事をしていて、家庭の中や、会社の中で争っている人達とよく出会います。実際、私も以前はよく腹を立てたり、張り合ったりしていたものですが、これは本当にばかばかしいことですし、悲しいことです。

もちろん何人かの人が一緒に生活をしていけば、不快に思うことが全くないということはないでしょうが、私はその人たちに聞きたいと思います。「あなたはその人に勝ちたいのですか？ それとも仲良くなりたいのですか？」と。

もし一緒に生活し、一緒に働く仲間に「勝ちたい」と答える人がいるならさらに聞きたい「勝ったらその人はあなたの意見を本当に応援してくれると思いますか？」と。

人はどんなに正しい意見でも、嫌いな人の意見には本気で従いたくはないし、好きな人の意見なら自分の考えと多少違ってても応援してあげたい気持ちになるものです。ところが自分の幸せのために人を道具としている人は「自分の正しさ」を盾に、相手を支配しようとして争います。夫婦の間で、親子の間で、職場でこんなことを繰り返していませんか？

もし、あなたの願いをよりかなえたいと思うのなら、まずあなたがその人を好きになり、その人に近づき、その気持ちを伝え続けてみましょう。結果は保証出来ませんが、随分あなたが楽になるかも知れませんよ。

こうした「支配」の関係の家庭で育った子供は、人を支配しようと争い「いじめ」や暴力をふるうようになります。夫婦が話し合いお互いに歩み寄る姿勢が良い子育てになるのです。もし社員がサボったり、会議で意見が出なかつたりしたら気を付けて下さい。もしかしら知らず知らずのうちにと人としてではなく、道具として付き合っているのかも知れません。自画自賛と笑われるかも知れませんが、参考までに社員と妻からのしがきを載せます。

いつもありがとうございます。これまでお世話になってきた中でも特に、オリジンの仲間に入れていただいたことと人を本当に愛する事を教えていただいたことの二つは、私のこれからの人生において大きな礎となりました。特に人を愛すことでは本当に勇気をいただきました。自信を持って大切な人を愛していききたいと思います。本当にありがとうございます。

私にとって保之さんは、これまでお世話になった人の第二位でした。まだ保之さんがアドラーを知る前から僕に声をかけ続けてくれ、どうしようもない私を長い目で見てくれ、私は助けられました。今度は僕の番だといつも心掛けています。結果はすぐにはでないと思うけど、今まで本当にありがとうございます。そしてこれから...

プロローグ本当にお疲れさまでした。今回はアシスタントとして参加出来、多くのかけがえない体験をすることができました。その中でも「人を感じ好きになることが、その人の幸せを分けてもらえ、どんな自分が幸せになっていくのを実感した時は「こんな世界があるのか」とびっくりしました。プロローグも今始まったばかり、もっともっとこの輪を広げて、一人でも多くの人にこの体験をさせてあげたいと心から思いました。

プロローグ本当にお疲れ様でした。ここ二・三日今まで以上に生き生きしてまぶしかったですヨッ。今日は子供達と電車に乗って藤枝まで行ってきました。保之さんが仕事をしてくれているのに、私は子供と遊んで来て、申し訳ないという気持ちと、とても幸せな気持ちで本当にうれしく思います。ありがとうございます。今ごろ卒業式ですね。九月のプロローグを思い出します。

## 「ウソ」について

「ウソ」について書いて下さい。という葉書が来たので書くことにしましたが、「ウソ」についてコメントするなら「ウソは他人につきましよう。」という一言に尽きるように思います。

皆さん「ウソ」をどんな目的で使いますか？  
「ウソをついたことがないので・・・」なんて言うウソはやめて下さい。「ウソ」は相手を不快にさせたり、心配をかけないためにコミュニケーションの上で潤滑油のような大切な役割を果たしていると思います。ところが注意して観察すると「ウソ」を自分についていることがしばしばあるようです。これはちょっと問題です。例えば、待ち合わせに遅れ、相手に聞かれてもいないのに「道路が渋滞して・・・」と言い訳している時、もしかしらその言い訳は自分に向けられてはいませんか？ 何のために？ そう、自分自身を騙すため、騙してその問題を完了してしまうために、又は「正しい私(被害者)」になるために。

不登校の子供と話す中で「学校に行きたい？」と尋ねると、多くの子供は「行きたい」と答えます。でも話しているうちに分かってくることは、彼たちの「行きたい」は、実は「行かないことは良くない」だったり「行けたらいいな」で「行きたい」ではないということです。私の知る限り「私は学校に行きたくないからいかない」と自分が受け入た子は、行きたくなったらまた自分で決めて学校に行き始めるようです。

人に評価されて育った人は、いつも他人からの評価を気にし、自分は「こうあるべきだ」「こうでなくてはならない」ということに頭を働かせ、不完全な現実を受け入れる勇気を失ってしまうようです。一生懸命「こうあるべきだ。でもそうでないのは～のせいだ。」「やらないのではなく出来ないのだ。」といった他人に向けて話すことで、自分に「ウソ」をつき、被害者になり、自分を正当化して苦しい生き方を続けます。時にはそれも必要かも知れませんが、一生付き合う自分にウソをつくのは少し悲しい気持ちもします。自分にウソをついていると自分が信じられなくなって、いつか自分を嫌いになってしまいますよ。自分とは仲良くやろう！

プロローグに出させてもらって本当に良かったと思っています。自分には応援し、見守ってくれている人達がいることを見失ったまま数字を必死になって追い求めていました。そして振り返ると、私を応援してくれている人とさえ争って来ていました。プロローグの仲間がいて、父や、母や、兄や、妻、子供達こんなにくさんのひとが応援してくれていたんですね。これからは一人頑張らず、皆の応援をもらって行こうと思います。ありがとうございます。

お葉書ありがとうございます。今まで自分の近くにいる人(主人・子供・家族)のことさえすっかり見ていなかった用にも思えます。研修後の主人は毎日生き生きとして、なんだかとても楽しそうです。私も一緒に学んでもっと幸せになりたいと思います。二月の女性セミナーも楽しみにしています。ありがとうございます。

今日の活動情報		お問い合わせはお電話で...	
日程	内容	主催者等	
2/18~19	マネージメント・ゲーム	(東海土建)	
2/21(火)	「女性のための心理学2」	(あざれあ)	
3/10(金)	「子育てについて」	(大津生活センター)	
3/16(木)	「女性のための心理学3」	(あざれあ)	
3/17(金)	ランチエスター戦略1	(オリジン)	
3/19~21	プロローグ	(日本閣)	
3/24(金)	ランチエスター戦略2	(オリジン)	
3/25~26	マネージメント・ゲーム	(東海土建)	

一人頑張っていると、「自分のやり方」はいつも「正しい」